



十一月二十日。村々の農作業も終わり、年越しと正月の準備のための買い出しに訪れる人々で、松本の商店街は賑わいを見せました。

えびす講は、本来西宮戎(兵庫)や今宮戎(大阪)などを信仰する商人が商店街ごとに構成した講でした。

しかし、釣り竿と鯛を持つイメーヅから、海沿いの地域では大漁の神として、また、

初冬の風物詩

第二地区の文化・伝統 シリーズ②

えびす講



平成28年11月1日現在

世帯数	: 861戸(0)
人口	: 1574人(-2)
男	: 763人(+1)
女	: 811人(-3)



山間部では五穀豊穡の神として、というように様々な場所で、いろいろな神として信仰されるようになりました。

松本では、四柱神社や深志神社等に祭られており、五穀豊穡や商業の神様として信仰されています。

お祭りは、一月十日の初恵比寿祭と十一月十九、二十日の恵比寿神社祭があります。



かつては、十一月のお祭り二日間にあわせて市を開き、女鳥羽川で豪華な仕掛け花火を打ち上げていました。

また、商店街では、大判や小判、大黒様や恵比寿様などの縁起ものをつりさげた青竹を町内に飾りつけたり、福引所を設けたりして、盛り上げていました。大きな売り上げを「お金の津波」に例えて、和菓子のきんづば(金津波)を食べる風習もあったようです。

昭和四十年代になると、流通がよくなり、スーパーマーケットができるなど、商業を取り巻く環境の変化とともに、いつの間にか衰退してしまいました。平成十年に、中心市街地の商店街などで作る実行委員会により、復活しています。

平成28年9月8日 第一地区敬老祝賀会

第二地区 行事あれこれ

「行事など情報をお寄せください。写真を掲載させていただきます。」

文化委員会



活動内容

地区の伝統・文化の継承行事などを実施

主な行事

青山様・ぼんぼん練り歩き餅つき大会

委員長からひとこと

地域の伝統を子ども達に伝えるため、がんばっています。



運営委員 (食生活改善推進協議会)

活動内容

郷土食の伝承や、食育のための講座を実施

主な行事

料理講座の開催



代表からひとこと

毎日の献立や栄養のことなどで話はずんだり、たまには菓子作りをして楽しみながら取り組んでいます。



がんばっています！公民館委員会

第二地区公民館は、町内公民館長と地区のみなさんによる委員会が設置され、地区の文化や伝統の継承と記録、学習機会の提供など公民館講座や行事を開催しています。今回は、「委員会をご紹介」します。

電車通り

世の中には名言、格言等色々あります。金融業界で『全ての卵を一つのかごに盛るな』という格言は、他でも参考になります。ふたつ以上の収入源があれば、一つが不調でも他で補えます。(世の中の経済の動きに対し、動きの違う種類を組み合わせる必要があります) これは簡単なものではありませんが、時間を掛けてコツコツと積上げていく、又余裕の資金を当てるのが、長続きし成果につながるのではないのでしょうか。

但英国のEU離脱のように、予想も付かない様な事が現実のものとなり混乱しましたし、更に米大統領選も気を揉ませますが、長期で考えれば、逆に好機ともなります。

金融商品はリスクの大きい株式から小さい債権まで有り、自分で十分理解を深めてから始めて下さい。

投資信託はリスクが大→小まで有り、その手数料の割高感が気になります。これは金融庁でも問題視していますし、金融機関の窓口等で知識を深める努力も必要です。

金融情勢は年金の積立金運用にも大きな影響を及ぼし、自分に関係無いと考えず注視し、自分のお金をどう多様化し生かしていくか考えるのも、頭の体操に成ると思います。